



伊藤 欽一 議員

ほほえみ保育園の 防犯対策について

危機管理の徹底と地域連携で対応



保育園・小学校・福祉避難所の位置関係

質問 11月9日に宮城県登米市の認定子ども園「豊里こども園」に刃物を持った男が子供を殺す目的で侵入する事件が発生しました。今回の事件は、不審な行動にいち早く気づいた男性職員が取り

り押さえ、最悪の事態を回避できた。職員が不審者の情報を共有し危機管理マニュアルに従い、素早く対応できたことと報じられている。ほほえみ保育園では、今回のような類似事件が

発生した場合、どのような対応をすることになっているのか。また、男性職員の人数は防犯対策から考えた場合どうなのか、町長に伺います。

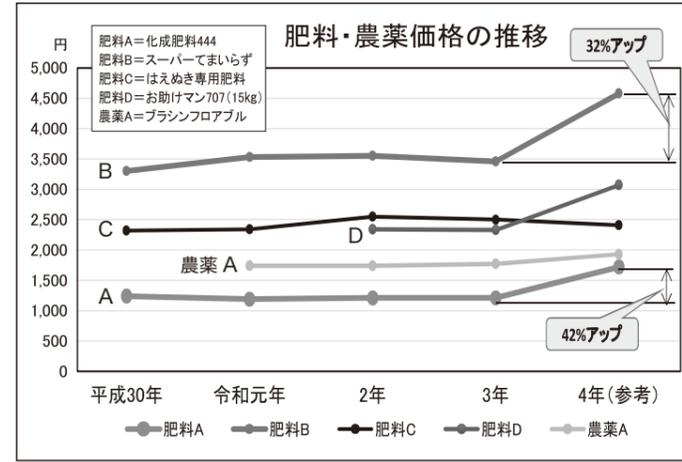


町道から見たほほえみ保育園

発生した場合は、不審者の侵入防止等についての危機管理体制や緊急時の行動体制を定めており、類似事件が発生した場合は、不審者を発見した職員が近くの職員に緊急連絡します。そして事務室への連絡、不審者には2名で対応し事情聴取や退所説得等を行い、また、園児の安全確保と必要に応じて警察への通報を行います。

保育園の男性職員については現在、園長と保育士、業務員の3名です。防犯対策は男女の区別なく、マニュアルに基づいて訓練どおりの対応を心がけます。防犯上の理由だけで男性職員を増やす考えはありません。これまでも不審者情報などが寄せられた時には、防犯

協会や交通安全協会、警察等のパトロールを実施するなど、連携した対応を行って頂いています。不審者等の防犯対策について、引き続き、職員への危機管理意識の指導、関係団体・地域住民との情報共有と連携を行います。町長 ほほえみ保育園では園児が驚かないように「うさぎさん」という言葉を使っています。



町長 本町の令和3年産の全主食用品種のうち約7割は「はえぬき」が占めております。「はえぬき」は、業務用米として高い評価を得ておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により外食需要及びインバウンド需要が大きく減少したことが影響し、3年産の農協概算金が大きく下落しました。一方で、肥料及び

農薬は海外需要の高まりと穀物相場の上昇を受け、価格が急激に上昇しています。また海上輸送費、コンテナ運賃の高騰もあり、来春の元肥価格が大幅に上昇する見込みです。本町としては米価下落の影響を緩和し、次期作に向けた米の販売農家の営農意欲の維持・向上を図るため、種子及び肥料等の購入経費の一部として「生産の目安」を守っている米の販売農家に対し、主食用米、加工用米、政府備蓄米の栽培面積10aあたり3,000円を交付したいと考えていて、ただし飯米及び縁故米分として、10a分を控除して補助金額を算定します。今定例会の補正予算として提案しており早期の交付を目指します。

質問 令和2年7月豪雨で最上川が氾濫し各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、上流側では盛んに工事が行われています。本町流域でも対策が行われるように、県・国に要望する必要がある

町長 最上川の上流側が整備され、通水量が多くなった時、水位が上昇し大きな被害を受けることになるため、河道掘削を新庄河川事務所に要望するとともに、連携し進め、最上川沿いに住む町民の安全・安心の確保に向けて取り組んでまいります。

質問 令和3年産米の出荷契約米農協概算金が大きく落ち込み60kg前年産比較で、つや姫は800円下落し15,000円、はえぬきに関しては、24,000円下落し9,300円

円と大変厳しい価格となりました。令和4年用の肥料・農薬は大幅値上げとなり稲作農家は死活問題だと思えます。このような状況下では、営農意欲の衰退、離農が懸念されます。今後も米づくりが継続できるように、救済策が必要だと思えます。町長の考えを伺います。

農薬は海外需要の高まりと穀物相場の上昇を受け、価格が急激に上昇しています。また海上輸送費、コンテナ運賃の高騰もあり、来春の元肥価格が大幅に上昇する見込みです。本町としては米価下落の影響を緩和し、次期作に向けた米の販売農家の営農意欲の維持・向上を図るため、種子及び肥料等の購入経費の一部として「生産の目安」を守っている米の販売農家に対し、主食用米、加工用米、政府備蓄米の栽培面積10aあたり3,000円を交付したいと考えていて、ただし飯米及び縁故米分として、10a分を控除して補助金額を算定します。今定例会の補正予算として提案しており早期の交付を目指します。

最上川緊急治水対策プロジェクトについて
河道掘削を国・県に要望する



令和2年豪雨で増水した最上川(堀内橋)



荒澤 広光 議員

3年産米価下落に伴う救済策が必要では 10aあたり3,000円を交付する

と思いますが、町長の考えを伺います。